



小国中だより

小国町立小国中学校
令和2年8月21日
文責 八木幸夫

令和2年度運動会スローガン

有終完美

新型コロナウイルス感染防止のために、学校行事の多くを中止の対応をしてきましたが、運動会については、感染防止対策を講じながら実施することとし準備を進めてきました。1学期から組織作りを進め、夏休み中も活動を行ってきた運動会の準備活動が、来週から本格的に始まります。今年度の大会スローガンは、「有終完美」です。「何事も終わりが肝心であること。最後までやり遂げること。」という意味があるそうです。小国中生一人ひとりが自分の役割に責任を持ち、最後までやり遂げることで、最高の運動会を作り上げたいという願いが込められています。

今年度、小国中生徒会は、「自主・自律」～仲間とともに～のスローガンを掲げ、自ら行動する自治活動を目指しています。朝清掃に自発的に取り組む姿、グラウンド整備に毎朝取り組む姿、地域ボランティアに積極的に取り組む姿などに、先輩方が高めてきてくれた小国中を小国中生一人ひとりの心を一つにしてさらに高いレベルへ、その意志を感じます。

運動会においても、様々な制約はあっても、当てられた条件、環境の中で、小国中生の心を一つにして自ら行動し、最後までやり遂げたいという思いがあります。このスローガンのもと、赤組、青組それぞれが良きライバルとして、競技に、応援に、力を尽くしてやり切ることで、互いが高め合って成長し、地域に誇れる学校、自分達が誇れる学校を目指して頑張りたいと思います。

今年度の運動会運営について

新型コロナウイルス感染防止のため、今年度は学校行事の大幅な見直しが求められ、家庭訪問、1学期オープンスクール、地区総体等が中止となりました。2学期も、修学旅行、キャリアスタートウィーク（職場体験）の中止が決まっています。

運動会については、例年生徒が主体的に取り組み、全校生が一丸となって取り組み、感動ある行事となっています。その良き伝統を引き継ぐべく、感染防止対策を講じながら実施することにいたしました。1学期中に実行委員会が組織され、組役員が決定し、夏休み中も準備活動に取り組んできました。例年とは違い、団体種目、応援等にも大幅な制限を設けての実施となります。また例年多くの保護者の皆さん、地域の皆さんの熱い応援をいただいておりますが、参観、応援にも制限を設けての実施とさせていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

令和2年度 小国中学校運動会

期日 令和2年8月29日（土） 雨天順延

*雨天順延の後、8月30日（日）も雨天で実施できない場合は中止とし、応援発表会を実施します。

日程	○役員打ち合わせ	7:45	○選手整列完了	8:10
	開会式	8:15	○競技開始	8:45
	競技（午前）	8:45～12:00		
	昼食	～13:00		
	応援合戦	13:10～13:40		
	競技（午後）	13:50～14:20		
	閉会式	14:30		



- 実施種目**
- 学年別全員走（100m競走）
 - 学年別選手種目
 - 200m競走（男女）・800m競走（女子）・1500m競走（男子）
 - 障害物競走（男女）
 - 団体種目（綱引き）
 - 密を避けるために、各組3チーム（男子14名・女子14名）を編成し、3チーム対抗で引いた距離の合計で勝敗を決します。
 - 学年別全員リレー
 - 学年毎2チーム（男子7名・女子8名）を編成し、4チームの対抗戦とします。1人グランド半周を走ります。
- 応援**
- 陣地応援 隣の人との距離を取り、マスクを着用して行います。応援する時間を限定して行います。
 - 応援合戦 隣の人との距離を取り、移動を伴わない応援とします。各組5分間とし、マスクは着用しません。

ご理解と協力をお願いします

運動会の応援、参観については、生徒家族の方のみとし、地域の方の参観はご遠慮いただくこととしました。（回覧文書でお知らせいたします。）

参観にあたっては、事前の検温、健康管理を十分にいただき、当日、受付テントで受付をお願いします。事前に、参加票に記入の上、当日ご持参ください。

3密を回避するために、参観用のテントは準備しません。各自で、熱中症対策を講じていただきながら、ソーシャルディスタンスをとって参観、応援ください。

細部については、本日、運動会の案内文書（2次案内）を差し上げました。ご確認ください。

ありがとうございました

P T A 研修会

、8月20日（木）、P T A研修部主催の研修会が行われました。演題は「家庭での新型コロナウイルス感染防止」。保護者の皆さんからの、家庭での感染防止について話を聴きたいという要望に応じて、講師に小国町立病院副院長 伊藤 宏先生をお迎えして行われました。

伊藤先生からはマスクやせっけんでの手洗いが感染防止には有効であること、手洗いでは指先や親指のつけ根をしっかりと洗うことが重要であることをご指導いただきました。新型コロナウイルスは潜伏期間が長いこと感染防止が困難であること、若年層は感染しても軽症で治ることも教えていただきました。特に、過剰に感染防止をやりすぎないこと、重症化リスクが高い高齢者への感染防止の配慮が大切であること、感染者への配慮（差別をしない）が必要であることを強調されました。

感染はまだまだ拡大しております。伊藤先生のご講話を活かして、学校と家庭が連携協働しながら、今後も子どもたちを守っていききたいと思います。